

ARTISTS' PROFILE

097 | 安田悠

statement

現実の世界なのか虚構の世界なのか、どちらともとれない白昼夢のような光景を描いています。永く永く引き延ばされた時間の流れと歪みからなる、よりファンタジックな世界を静かに感じて下さい。

profile

- 1982 香川県生まれ
2008 「VOCA展 2008」上野の森美術館
2007 「トーキョーワンダーウォール公募2007」トーキョーワンダーウォール賞、東京都現代美術館
「ART AWARD TOKYO」行幸地下ギャラリー
「安田 悠展」GALLERY b.TOKYO、東京



安田悠《untitled》
2008
油彩、カンヴァス

098 | シムラユウスケ

statement

「大きな帽子に大きな靴、黒い姿に包まれた彼女は僕にとって魔女だった。」
僕らはいつも不思議のど真ん中に居る。その瞬間に重なりあうそれぞれの時間軸を構造的に組み上げ、構図、色彩、世界観や驚きを作品の中に組み合わせて閉じ込めることで、その世界を覗き込むと「今見ている世界のスイッチが切り替わる」、僕は作品を通じてそこに世界中に魔法が溢れていることを形にしています。「WITCH」は僕の目の前に居る魔女の作品です。

profile

- 1981 千葉県生まれ
現在 東京都在住

2008 「Yusuke Shimura」CIBONE QUADRA GALLERY、東京
「101 TOKYO Contemporary Art Fair 2008」東京
2007 「Yusuke Shimura × Applestore」アップルスト

ア銀座、渋谷、心斎橋

「トーキョーワンダーウォール公募2007」入選、東京都現代美術館



シムラユウスケ
《WITCH》
2006
Cプリント

099 | HyonGyon

statement

制作にあたってつねに、と言ってもよい、喜び、期待、恐怖、緊張、興奮と言った感覚。
今回は絵を描いている自分を含め、見ている側もぞくぞくする感覚、作品を通してのエネルギーを感じさせ、味わってもらいたい。

profile

- 1979 韓国に生まれる
現在 京都市立芸術大学院博士課程 在籍

- 2008 「トーキョーワンダーウォール都庁2007 HyonGyon展」東京都庁
2007 「トーキョーワンダーウォール公募2007」トーキョーワンダーウォール賞、東京都現代美術館
「worm hole episode7」magical art room、東京



HyonGyon
《WITCH》
2008
デジタル、カンヴァス

100 | 高倉吉規

statement

繁華街を歩くと、とつてもたくさんの人間がいてどきどきする。きれいな女の子、きたない男の子、家のない人々。いつの間にか胸は欲望に捕まれる。それが、とても、本当に快くて何度も、何度も、街に出る。そんな時、僕の抱えているいやらしさが街と一緒にあって、混ざり合って、溶け込みあって、いつの間にか僕は欲望という大きな、大きな木の、幹にぶら下がる実になってしまう。そんな時、もう周りは幹だらけ…
ああ、いっそ、何かに食べてもらいたい。

profile

- 1981 東京都生まれ
2006 東京造形大学美術学部卒業
2008 東京藝術大学大学院在籍
2008 「トーキョーワンダーウォール都庁2007 高倉吉規展」東京都庁
2007 「メントモリ」ギャラリーK、東京
「トーキョーワンダーウォール公募2007」トーキョーワンダーウォール賞、東京都現代美術館



高倉吉規
《The gift》
2008
油彩、カンヴァス

101 | 塩川直子

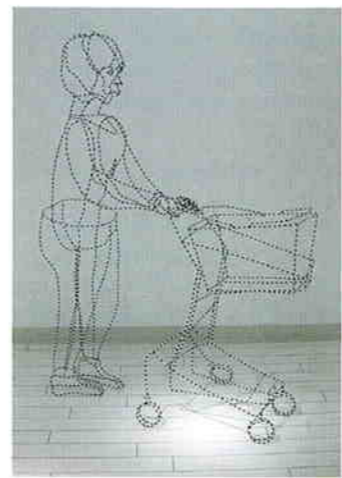
statement

今という時間は今と言っている間に過ぎていき、観ている全てのモノは過去の記憶となっていく。
今を残そうと写真を撮るが、今がどこにあるのか考える事がある。
時間や記憶は写真に写らず、今は永遠に過ぎていく。

profile

- 1983 神奈川県生まれ
2008 多摩美術大学彫刻学科卒業
2007 「トーキョーワンダーウォール公募2007」入選、東京都現代美術館
「創造と森の声2007横浜の森美術展2」横浜動

物の森公園予定地
「アートプログラム青梅一総天然色の無意識一」
東京都青梅市内各所



塩川直子
《おぼろげ》
2007
針金、ミールテープ

102 | 青山裕企

statement

ソラーマンとは“空跳ぶサラリーマン”の愛称です。
スーツをユニフォームに、社会の荒波を生き抜くニッポンのサラリーマンたちの躍動する姿を、真夏のオリンピック・シーズンにお届けします。2016年東京オリンピック招致へ向けて、跳べ！

profile

- 1978 新潟県生まれ
2005 筑波大学人間学類心理学専攻卒業
現在 東京都在住

- 2007 「トーキョーワンダーウォール公募2007」入選、東京都現代美術館
「キャンノン写真新世紀」優秀賞(南條史生 選)



青山裕企
《ソラーマン・シュウヘイキミシマ》
2008
インクジェットプリント

103 | 黒川彰宣

statement

目当てのものを、半ば偶然発見するためのきっかけづくりです。

profile

- 1974 大阪府生まれ

- 2007 「トーキョーワンダーウォール公募2007」入選、東京都現代美術館
2005 「途端中」児玉画廊、大阪
「ignore your perspective」児玉画廊、東京
2004 「た抜き暗号」アートスペース虹、京都
2003 「stay with art」hotel T'POINT、大阪
「art in transit」ザ・パレスサイドホテル、京都
「trans-」京都芸術センター、京都
2002 「shadow of style」アートスペース虹、京都



黒川彰宣
《偶然の作戦》
2007
ミクストメディア

104 | 吉田真由子

statement

生まれてから一言も言葉を発していない。そんな感覚ゆえに、言葉に恐れと憧れを抱いてきた。断然としたこの世界の底では、全ての言葉が溶けてその姿を消し、静かに沈黙しているに違いない。失ってしまった言葉をそこに探している。

profile

- 静岡県下田市生まれ
2008 「to ashes」巻房階段下、東京
2007 「沈黙を破ってはならない」巻房階段下、東京
「トーキョーワンダーウォール公募2007」入選、東京都現代美術館
2006 「とらわれ」ギャラリーO、東京



吉田真由子
《沈黙を破ってはならない》
2007
紙、木

105 | 江幡京子

statement

老人の部屋の写真シリーズ。持ち主が年をとると部屋は一

層持ち主の内面や、その人の生き様を表して行く。時間軸がずれ自己完結した小宇宙の中の物の様子には、胸を締め付けるような切なさや、独特の美しさがある。

profile

- 1973 東京都生まれ
2007 「トーキョーワンダーウォール公募2007」入選、東京都現代美術館
2005 「新・公募展」入選、広島市現代美術館
第11回国際スタジオプログラム参加、the ACC Galerie、ワイマール市
2004 「MEDIARENA: contemporary art from Japan」the Govett-Brewster Art Gallery、ニュージーランド
2002 「Young Video Artist Initiative」THINK ZONE、東京



江幡京子
《「ジャムの瓶詰め小屋」シリーズより》
2006
デジタル写真

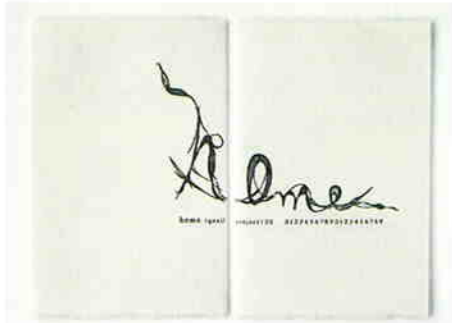
106 | 渋谷奈緒

statement

ものと素材の持つ力を使い、ものとの関係を作り、ささやかな空間を作っています。
ものとの関係が拡張し、展示空間を越えて、“延々に繋がる、所在地の無い風景…”へつながる方法を探しています。

profile

- 1979 名古屋生まれ
2002 武蔵野美術大学映像学科卒業
2004-2006 渡独(ライブチヒ、ベルリン)
2007 「トーキョーワンダーウォール公募2007」入選、東京都現代美術館
2003 「home_」往復書簡」site、東京



渋谷奈緒
《家》
2004-2006
和紙、活版印刷